

令和7年度 従業者向け 児童発達支援評価表

児童発達支援 ゆったりか

実施職員9名（管理者・児発管含む）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・個別対応する空間も用意されており良いと思う。 ・現在の実利用人数に対しては適当だが、今後増えると工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・1対1の手厚い対応ができています。 ・何かあった際には呼びかけて1人多く支援に入ったりしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	・子どもにとって理解しやすい間取り ・視覚的に分かりやすいように絵カードを使用したり、場面の切り替えの際にはタイマーを使用したりして分かりやすくしている。 ・玩具の収納をもっと分かりやすく工夫したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・園庭でのびのび活動できる。 ・毎日部屋のリセットをして清潔に保っている。 ・毎日丁寧に掃除している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・必要に応じて安心できる、クールダウンできる場を設けている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	4	・毎月職員会議で行っている。 ・都度連絡が行き届いている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・開設初年度で今回が初評価のため判断できない。 ・直接保護者の話を聞いたり、管理者がきいたことを職員会議などで共有したりしている。 ・職員全体に保護者の意向は伝わっていないので分からない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・月2回の職員会議を設けている。 ・それぞれが意見を出し合っている。今以上に思いを伝えられると良いと思っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	・分からないため。 ・GEPPOによるエンゲージメントサーベを行い、外部からのフィードバックを受けている。 ・補助事業の資金分配団体による評価を受けて改善を図っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・LINEWORKSで外部研修参加の案内が行き届いている。 ・内部研修も確保されている。 ・会議を研修に変えて行う事もある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・誰もがいつでも見ることができる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・保護者との面談によるアセスメント、AI-PACの課題アセスメントなど実施している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・今何がその子にとって大切なのかをそれぞれが考えて会議で意見を出し合っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・補助で入る職員までは行き渡っていない
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・ViinelandⅡ適応行動尺度を実施。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・児発管によって適切に計画作成されている。

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	・小集団療育の活動プログラムの担当者を中心に、職員全体で週案を作り日毎に担当者を決めてプログラムを作成している。 ・子ども達に体験してもらいたいこと、皆で楽しめるものを考え話し合っ てプログラムを決めている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・各職員の得意分野を活かして分担していることで固定化せずに行 えている。 ・子ども一人ひとりに合わせている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個々のニーズに応じて個別療育と集団療育を分けたり組み合わ せたりしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行って いるか。	5	4	・相談、報告はよくなされている。 ・送迎の関係で打合せが難しい場合も、日課表やホワイトボード、 グループトークなどを使って全員が把握できるようにしている。 ・「必ず」ではないが必要なタイミングで随時行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	・児発の終了と同時に短期入所の支援が始まっているため、しっか り時間をとって打合せができていない。 ・支援の流れの中で気になった点などは話をしている。 。現実的に「必ず」は難しいが記録を共有して振り返りができ てい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	9	0	・とても丁寧に細かく記録されている。 ・必要事項を簡潔にまとめて読みやすくする工夫も必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	・毎月の会議の中で行っている。
関係機 関や保 護者 との 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・児童が併用している保育所や移行先の学校や放デイ等とよく連携 ができています。 ・次年度以降はもっと連携できそう。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか。	8	1	・保護者の意向やお気持ちもお聞きした上で、インクルージョンで できるように保育所等との連携を図っている。 ・さらに綿密に行い移行支援がうまく進行できると良い。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・管理者が直に足を運び話し合いをしてくれている。 ・書類や直接観察、触接話をして伝達するなどして情報共有してい る。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受け たり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	・市内の児発センター+が地域連携に積極的ではないと感じている。 ・センター以外の専門機関からは助言をもらっている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこど もと活動する機会があるか。	4	4	・意図した活動機会は設けていないが、公園に行った際に保育園の お子さんたちと自然に交流を持ったり職員が話しかけたりしてい る。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	9	0	・保護者にはその都度細かく伝達している。 ・特に個別療育ではAI-PACなどの支援ツールも使いながら発達の状 況を共有し、保護者と話す時間を長く設けている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	7	2	・親子共学型個別療育であればE-learning教材なども使って保護 者に学ぶ機会を提供したり、実際に個別療育に参加して頂いて、課 題を家庭でも実践できるようにレクチャーしている。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	・管理者が行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・児発管が面談をして行っている。 ・保護者との連携はよくとれていると思う。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・児発管と保護者の面談時間を設け、計画の同意を得ると同時に保護者や児童の現況や保護者の気持ちを聞いている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・面談を行うほか、日頃の保護者との会話の中や連絡帳でも相談に応じている。 ・すぐに解決できない事は職員間で共有し相談している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・遠足行事で保護者同士の交流を持つ機会を設けた。 ・今後は保護者交流会や兄弟児との交流ができる機会を設けている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・迅速な対応を心がけている。 ・保護者からの申し入れがあった際は、すぐに責任者に報告し適切な対応をしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・Instagramで活動の様子を共有するほか、保護者専用のGoogleドライブでお子さんの写真を閲覧できるようにしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人情報管理規定を設け遵守している。 ・職員採用時は個人情報に関する誓約書を交わしている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・視覚的な情報提示を心がけている。 ・保護者への伝達はLINEなどのツールを活用している。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・自治会には加入しているが、まだ開設したばかりで地域交流には至っていない。 ・近隣の店舗等にはお世話になっている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	・マニュアルはあるが、まだ本格的な訓練実施には至っていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3	・BCPに基づいた訓練まではできていない。 ・児童と避難場所まで歩くなどの訓練を実施した。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・服薬がある場合は服薬依頼書に詳しく記載してもらっている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3	・玄関に安全計画のファイルが設置されている。 ・日々の行うの中で安全確認（危険物や不審物のチェック）を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	・契約時に説明している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットのマニュアルを確認しやすい場所に設置している。 ・職員会議でヒヤリハットの振り返りを行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・法人全体研修で研修を実施している。 ・支援振り返りアンケートを毎月実施して職員会議で共有している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	・「安全核の穂為の行動制限ガイドライン（身体拘束適正化の指針）」を設けて遵守している。